

本試験課題(2020.10.11)と研究会の予測課題(2020.10.15HOME無料講座「1級製図会員講座 8章予測課題の解説」でアップ中)との比較検証

(1) 作図課題 (表1参照)

- ⇒建設用地は、横長(51m×36m)の2面道路(北・西)の出題だった。これは、予測課題1の横長(50m×35m)、2面道路(北・西)と類似問題である。本試験の西道路4mは道路高さ制限への対応が必要であり、その点も予測課題1の西道路8mで解説したので、高さ制限での一発ランクIVは避けられたと推定する。
- ⇒建物階数は3階建てであり、予測課題2と同じである。本試験の敷地内一部は「埋戻し部分」であり、予測課題2は同様に「埋戻し土部分」があり類似問題となった(計画の要点等の表2構造計画の3「基礎方式と埋戻し土」でも詳細解説している)。
- ⇒要求室は、表1の通りほぼ全てが的中した。部門は、居住部門、居宅サービス部門、共用・管理部門であり、これは予測課題2と類似している。予測課題2の居住部門は、1フロアのユニット型であり、ここを1フロアで2分割すると解答できたと推定する。
- ⇒その他の施設等は、駐車場の車椅子利用者用1台、サービス用1台、送迎用1台が予測課題3と同じ内容であり、駐輪場は予測課題1で示している。唯一、予測が外れた点は、南側隣地が住宅地であったこと、それとの採光への配慮が予測解説していないことであった。

(2) 計画の要点等課題 (表2参照)

- ⇒計画の要点等は、表2の通りほぼ的中した。単純に同じ内容と言えない点もあるが、研究会の「計画要点等のまとめ」を総合的に応用すると容易に回答できたと推定する。唯一予測できなかった点としては、(4)の「耐震計算ルート」についての解説はしていなかった。

(3) まとめ

- ⇒本年度の試験課題は、2面道路の3階建て、敷地内の埋戻し部分、ユニット型の居住部門等の特徴があり、研究会の予測課題は全てを網羅し、更に表1(作図課題)と表2(計画の要点等)の両方ともに**80%以上の中**したと言える(H28、H29、H30、R1、R2と5年連続で3種類の予測課題のみで本試験80%以上の中した)。
- ⇒資格学校の予測課題は、15案程度があり毎週作図する学習法である。その点を否定はしない、研究会は、効率よく学習するためには予測課題を3案程度に絞ることがベストと判断し、その3案で本試験80%以上の中することを目標としている。

表1 各予測課題の比較一覧表

は試験課題で出題された内容と研究会の予測課題の内容が類似したものを示す(細かい数値等の違いは類似したとしている)。

各社	課題名	建設用地		指定床面積		東西南北の条件				要求室																				屋上	屋外	駐車場			駐輪場	階数 建蔽率																					
		規模	横	縦	以上～以下		東	西	南	北	ディサービス部門(D部)					ショートステイ部門or居宅センター部門(S部)					住宅部門(J部)					共用部門(K部)					庭園	広場	車いす	送迎用	サービス																						
		(㎡)	(m)	(m)	(㎡)～(㎡)	事務室					更衣控室	訓練・食堂	厨房パント	浴室	交流	休養医務	相談会議	介護教室	事務室	控室センター	宿泊展示	訓練介護	厨房パント	休養医務	洗濯汚物	リネン室	住戸	事務室	談話室(共同)	食堂								パントリー	浴室	洗濯汚物	リネン室	エントランス	交流	喫茶レスト	売店(他)	事務室施設長	更衣室	休養医務	相談会議	便所他部有	設備室						
本試験	R2課題	1,836	51	36	2,400 ~ 3,000	隣地	道路	隣地	道路	適宜	-	80㎡	-	8・10 2室	-	-	-	-	5人	-	-	17㎡ /5室	-	-	-	-	-	17㎡ /9戸	適宜	50㎡	(共同)	-	5㎡ 脱衣	(適宜)	-	-	適宜	100㎡	調理室	ラウンジ	8人	-	-	適宜	適宜	適宜	20人	適宜	適宜	受25㎡ ホ15㎡	-	-	1	1	1	10	3F 80%
研究会	予測課題1	1,750	50	35	3,000 ~ 3,500	駐車	遊歩	公園	道路	4人	適宜	適宜	150㎡	30㎡	120㎡ 3室	-	適宜	適宜	25㎡	-	-	-	-	-	-	-	適宜	適宜	30㎡ /12戸	-	適宜	-	-	-	適宜	-	吹抜	100㎡	30人	適宜	4人	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	受50㎡ ホ30㎡	150㎡	-	1	2	1	15	5F 70%	
	予測課題2	1,536	32	48	1,600 ~ 2,100	隣地	公園	公園	道路	-	-	120㎡	40㎡	80㎡ 3室	-	-	-	40㎡	4人	-	20㎡ /12戸	40㎡	-	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	20㎡ /10戸	-	30㎡	30㎡	-	30㎡	適宜	適宜	40㎡ 吹抜	-	-	-	4人	-	適宜	適宜	-	適宜	適宜	適宜	80㎡ 80㎡	円5m	1	-	1	-	3F 60%		
	予測課題3	1,728	48	36	6,500 ~ 7,000	道路	隣地	道路	公園	適宜	-	100㎡ 100㎡	-	120㎡ 3室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	適宜	適宜	20/16戸 40/8戸	適宜	-	80㎡	-	60㎡	適宜	適宜	80㎡ 吹抜	200㎡ 6m天	200㎡	40㎡	適宜	適宜	-	30㎡ 40㎡	適宜	適宜	適宜	適宜	-	200㎡	1	1	1	-	7F 80%		
既存樹木のある配置(1階2階3階で既存樹木への配慮が必要)、住戸が2パターン、交流多目的室は天井高さ6mと200㎡の大空間(PC梁)、2層吹抜け80㎡以上、外気処理空調機(屋上からのDSが必要)、バルコニーが2m指定(北側住戸の場合隣地距離3mが必要)、容積率が大きい場合へのエスキスへの計画ができることが条件となる。																																																									

表2 計画の要点等の比較一覧表

は試験課題で出題された内容と研究会の予測課題の内容が類似したものを示す(細かい数値等の違いは類似したとしている)。

NO.	本試験の計画の要点等	研究会の計画の要点等の予測内容(計画の要点等まとめ一覧表との検証)
(1)	居住部門の個室の計画において、「入居者の住みやすさ」及び「介護のしやすさ」について考慮したこと	表1建築計画の2「建築物の内部動線」、3「セキュリティ・バリアフリー計画」、6「機能訓練室・食事室の計画」を参考にして頂くと書けたと推定する。
(2)	居住部門及び居宅サービス部門のスタッフルーム等介護に必要な諸室の配置について考慮したこと	表1計画計画の2「建築物の内部動線」、7「建物内ゾーニングの計画」を参考にして頂くと書けたと推定する。
(3)	協同生活室及びディールームについて、自然光を取り込みつつ、冷房時の負荷抑制を図るために、建築計画において工夫したこと(Low-Eガラスを使用する工夫を除く。)	表4環境負荷の1「パッシブデザイン」、2「アクティブデザイン」を参考にして頂くと書けたと推定する。
(4)	建築物の構造計画について、建築物の特性に応じて採用した構造種別・耐震計算ルートとそれらを採用するに当たり、耐震性を確保するために考慮したこと	構造種別は、表2構造計画の1「構造種別」で書けるが、耐震計算ルートは予測できなかった。
(5)	車寄せの屋根・庇等となる部分の寸法、有効高さ及び車寄せの屋根・庇等の構造計画(各種寸法、部材の材質、支持方法及び耐震性等)について考慮したこと	表1建築計画の1「車寄せの計画」と、各課題の解答図を参考にして頂くと書けたと推定する。
(6)	地盤条件や経済性を踏まえた、支持層の考え方、採用した基礎構造とその基礎底面のレベルについて考慮したこと	表2構造計画の3「基礎方式と埋戻し土」を参考にして頂くと書けたと推定する。
(7)	インフルエンザやノロウイルスへの対策について、建築計画や設備計画において考慮したこと	設備計画は、表3設備計画の7「外気処理空調機」と、建築計画は解答図の「汚物処理室」を参考にして頂くと書けたと推定する。
(8)	高理社介護施設としての空調方式について、採用した空調方式とその理由	表3設備計画の「1交流多目的室、2エントランスホール、3レストランの空調方式、7外気処理空調機」と、解答図の空冷HPを参考頂くと書けたと推定する。

注意:試験課題は、会員(受験者)の協力に基づき作成したものであり、参考として見て下さい。